



iPhone と iPod touch の ラインナップ

iPhone と iPod touch には、いくつかの製品のラインナップがある。まず、日本で発売された iPhone には 3G と 3GS の 2 種類があり、詳しくは iv ページで解説する。

iPod touch は、発売時期によって第 1 世代、第 2 世代と分けられている（厳密には、第 2 世代も 2008 年モデルと 2009 年モデルの 2 種類がある）。第 2 世代からは、ボリュームコントロールボタンやスピーカーの追加、クロームメッキボディの採用など、iPhone と変わらないデザインに仕上がっている。見た目以外にも、Bluetooth への対応による Bluetooth ステレオヘッドフォンの利用や、外部マイクへの対応など、より iPhone に近づいている印象がある。

なお、第 1 世代とそれ以降とでは機能が異なるため、本書で紹介する内容が第 1 世代の iPod touch では適用できないこともある。とくに、Bluetooth やマイク / スピーカーを利用したアプリケーションは、第 1 世代の iPod touch では使えないので注意しよう。



第 2 世代の iPod touch は、ボリュームコントロールボタンが左側面にある

iPod touch の世代の見分け方

世代	発売時期	見分け方
第 1 世代	2007 年 9 月	本体左側面にボリュームコントロールボタンがない
第 2 世代	2008 年 9 月	本体左側面にボリュームコントロールボタンがある

メモリ容量の違い

iPhone と iPod touch には、メモリ容量の異なるモデルが用意されている。バリエーションとしては、iPod touch のほうが選択肢が多い。

記事執筆時点で購入できる製品として、iPhone 3G が 8GB、iPhone 3GS が 16GB / 32GB であるのに対して、iPod touch は 8GB / 32GB / 64GB と用途に応じてモデルが選択できる。実用上 16GB ~ 32GB あれば不自由はないだろうが、音楽や動画などのコンテンツをより多く持ち運びたい場合は、iPod touch 64GB がもっとも適しているだろう。

iPhone と iPod touch のどちらを選んだらよいか

iPhone と iPod touch のどちらを購入したらよいか悩んでいる人もいるだろう。基本的には、利用目的に合わせて選べばよい。本書では、インターネットに常時接続していることを前提とした活用方法を紹介しているので、iPhone を使うことによるメリットのほうが多く感じられるだろう。

しかし、「携帯電話を機種変更したくないけど、iPhone の機能を少しでも試してみたい」という人には iPod touch でも十分だ。Web サービスやパソコンのデータを同期できるビューアマシンとして十分活用できるだろう。

iPhone と iPod touch の比較ポイント

	iPhone 3GS	iPod touch (第 2 世代 2009 年モデル)
重さ	135g	115g
厚さ	12.3mm	8.5mm
背面のカラー	ブラックもしくはホワイト	シルバーのみ
ハードウェア	カメラ、マイク、GPS がある	左記の機能がない
インターネット接続	3G 回線、無線 LAN が利用可能	無線 LAN のみ
メールアドレス	パソコンメールのほか、Eメール (i) や MMS が利用可能	パソコンメールのみ
その他	ソフトバンクとの契約および月額維持費が必要	月額維持費等は不要